

【都筑区】令和5年第2回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和5年6月8日（木）10：00～
場 所	6階大会議室
出席者	<p>【座長】長谷川琢磨 議員</p> <p>【議員：3名】磯部尚哉 議員、白井亮次 議員、深作祐衣 議員</p> <p>【都筑区：31名】佐々田賢一 区長、落合明正 副区長、深澤義一 災害対策担当部長（都筑消防署長）、林千賀 福祉保健センター長、浦崎真仁 福祉保健センター担当部長、小島淳 都筑土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>(1) 令和5年度 都筑区に係る予算のすがたについて</p> <p>(2) 令和5年度 都筑区自主企画事業の主な事業と取組について</p> <p>(3) その他</p>
発言の 要 旨	<p>【区配予算について】</p> <p>磯部議員：都筑区は他区と比べて生活保護費の割合が低いですが、その代わりにどういったところに予算が使えているか。</p> <p>佐藤総務課長：子育て支援や道路・公園維持管理など身近なまちづくりに係る予算が割合的に多くなっている。</p> <p>【都筑区民文化センターについて】</p> <p>磯部議員：他区の区民文化センターと比較してどういった違いがあるのか。また、稼働率を上げていくためにどのように発信をしていくのか。</p> <p>黒澤区政推進課長：都筑区は吹奏楽やダンス、コンサートやミュージカルも盛んに行われている。開館も1年半後に迫っているので、パネル展やSNSなどを通して発信していきたい。</p> <p>【地域が支える子ども達の居場所づくり事業について】</p> <p>白井議員：これはすでに取り組んでいるものなのか。また、不登校対策といった意味合いもあるのか。</p> <p>清こども家庭支援課学校連携・こども担当課長：この事業は以前から区の</p>

南部方面で週1回実施している。不登校対策を目的とした事業ではないものの、局事業も含めて、引き続き支援を必要とするお子さんの支援を続けていきたい。

【ペット防災について】

白井議員：動物適正飼育推進事業で実施しているセミナーでもペット防災について広報しているのか。また、動物病院やペットショップでの啓発は行っているのか。

岸生活衛生課長：日ごろから飼い方に応じた避難方法等について呼びかけを行っている。獣医師会にも働きかけは行っており、ペットショップでの啓発については今後検討していきたい。

【あゆみが丘市有地について】

白井議員：あゆみが丘市有地の利活用については、地域の意見もしっかりと聴取して進めていっていただきたい。

黒澤区政推進課長：これから説明会の実施も考えている。今後もしっかり意見交換していきながら進めていきたい。

【危機管理対策推進事業について】

白井議員：災害が起こった際に、診療可能な診療所には黄色い旗を掲げることになったが、地域防災拠点や町内会と地域の医師の窓口役を作るなど、顔の見える関係性が構築できるよう柔軟な対応をお願いしたい。

室山福祉保健課長：災害時にどの診療所が旗を掲げるかについては、その時の状況による。黄色い旗が掲げられなくても、どの診療所が開設しているかという情報については、区役所から発信できるよう仕組みを考えている。

白井議員：そのことは承知している。要望するのは、地域防災拠点と地域の診療所の日頃からの顔合わせなどによる関係の構築ができないかということである。

室山福祉保健課長：承知した。医師会に相談をしていく。

白井議員：地域防災拠点のエンジンカッターが老朽化してきていて、一律にモーターカッターに切り替えるという話もあるようだが、一律に切り替えるのではなく、拠点の状況に応じて柔軟に対応し

ていただきたい。また、ボッシュの本社が来ることにより外国人も増える。そういった方たちにも災害情報がきちんと伝わるようなシステムを構築していくことも併せて要望したい。

深作議員：要援護者支援の方向性は怎么样了か。

石井高齢・障害支援課長：災害時要援護者名簿に登載されている患者様と関係のある機関とも協力して、効果的な手法について引き続き検討していく。

【妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業について】

深作議員：赤ちゃん会の実施回数を増やした経緯と、広報を具体的にどのように行っていくのか伺いたい。また、なぜ赤ちゃん会は8月に実施しないのか。

上田こども家庭支援課長：実施回数についてはアンケートや実際の予約状況などを踏まえて検討した。広報についてはSNS等を十分に活用して発信していきたい。8月は夏休みで外出される方も多いので実施しない。

【消防団員について】

深作議員：都筑区の消防団員の充足状況を伺いたい。

渡邊災害対策担当課長：4月1日現在、定員440人のところ391人で88.9%となっている。100%を目指して尽力していく。

【都筑区役所6階食堂跡地について】

深作議員：6階の食堂が撤退したが、跡地はどうなっているか。

佐藤総務課長：昨年12月に撤退したあとはそのままの状態になっている。横浜市の補助がないと採算がとれないということで他の事業者も入ってない状況。活用方法については検討している。

【横浜ビー・コルセアーズを活かしたホームタウン活動推進事業について】

深作議員：予算が大幅に増えているが、具体的な計画を教えてください。

倉田地域振興課長：予算の増加に関しては、ビー・コルセアーズ関連事業とスポーツ振興事業を統合したことが主な要因。これまではビー・コルセアーズの応援を趣旨にしていたが、今年度からはビー・コルセアーズとの連携を深めながら様々な区民の方がスポ

	<p>一ツに親しめる機会を広げていきたいと考えている。</p> <p>【要援護者支援について】</p> <p>長谷川議員：要援護者支援について、資料内に「区民や自治会町内会役員を対象に講演会を実施」と記載されているが、“区民や自治会町内会役員”とは誰を指しているのか。</p> <p>室山福祉保健課長：要援護者支援については今までも地域の皆様に協力をお願いしてきている。自治会に限らず地域の様々な団体の皆様と話し合いを進めていきたい。</p>
備 考	